

この先生にズームイン

感性を呼び起こすサンプル

造形表現のためには、普段から感性を養う努力が必要。「物や風景を見て何かを感じることが重要で、学生にはそういう環境に身を置くよう指導していますが、私からも優れたサンプルを提示します」。スイスのネフ社の積み木は色彩がきれいで、おもちゃとしてもクオリティーが高い逸品。回すことで混色のシミュレーションができるこまもある。



プライベートはジャージーで

ファッションとして、カジュアルでおしゃれなジャージーを愛用。サッカーのクラブチームのウェアなどを集めている。「体を動かすことが好きなので、服装も活動的に見えるのが好きなんですよ」



趣味はサッカー

筑波大学に在籍していたころに留学生でサッカーチームをつくっていた。メッセージ入りのボールは、つくば市を離れる時にチームの仲間が贈ってくれたもの。今はサッカーをする時間が取れないので、少々フラストレーションがたまり気味だとか。



先生に質問!



つい手が出る3次元の物

街で立体的なオブジェやペーパークラフトを見つけると、どんな仕組みになっているのかが気になり、つい買ってしまったり。「学生たちの造形のヒントになればと思い、研究室に飾っています」



アップル社の製品が好き

デスクトップパソコンのiMacをはじめ、ノートパソコンのMacBook AirとPro、タブレット型コンピューターのiPad、スマートフォンのiPhoneなど、机回りにはアップル社の製品がずらり。「発売日にストアの前に並ぶ人の気持ちはわかります」。iPhone6も、もちろん購入予定。



きむ ど ひょん

金度亨 助教

文化表現系教育コース
[芸術系教育分野(美術)]

韓国出身。平成6(1994)年、蔚山大学視覚デザイン学科卒業。その後筑波大学に留学し、21(2009)年、同大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻博士後期課程修了。同大学助教を経て25(2013)年から現職。研究分野は構成・デザインで、表現を通して造形発想・造形思考を高めることを目標とする。授業は「構成教育論」「構成・デザイン表現研究」「デザイン実技」などを担当。



A 俗にいう「だまし絵」、いわゆる錯視を用いた作品や動く造形を作っています。サッカーボールに見立てた作品は、実際にはへこんでいる部分が逆に飛び出して見えます。制作のモットーは、自分がまず楽しむこと。自分が楽しいと感じた部分を、作品を見てくださる方と共有できれば最高ですね。面白くユニークな作品を発表して、皆さんに新鮮な刺激を与え、今まで知らなかった世界を感じていただきたいと思っています。

Q アーティストとして制作もされていますね。

A 構成とは、あらゆる造形表現に共通する基礎的で重要な問題について、理論および実技を通して造形的可能性や展開を考える領域です。形に例をとると、2次元の観点からも、3次元の観点からも、各方面からの見方や形の構造の探究によって生まれてくるさまざまな課題について深く考えていきます。デザインや造形の基礎ともいえる領域ですので、学生たちが将来教員になった時に、造形表現とはどういうことなのかを論理的に説明する際に役立ちます。

Q 先生のご専門、「構成」について教えてください。

A 構成とは、あらゆる造形表現に共通する基礎的で重要な問題について、理論および実技を通して造形的可能性や展開を考える領域です。形に例をとると、2次元の観点からも、3次元の観点からも、各方面からの見方や形の構造の探究によって生まれてくるさまざまな課題について深く考えていきます。デザインや造形の基礎ともいえる領域ですので、学生たちが将来教員になった時に、造形表現とはどういうことなのかを論理的に説明する際に役立ちます。